

ステアリングリモコン対応キット
(ダイレクト接続 - パラレルタイプ)
トヨタ・ダイハツ・マツダ
スズキ・日産車用

取り付け解説書



安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

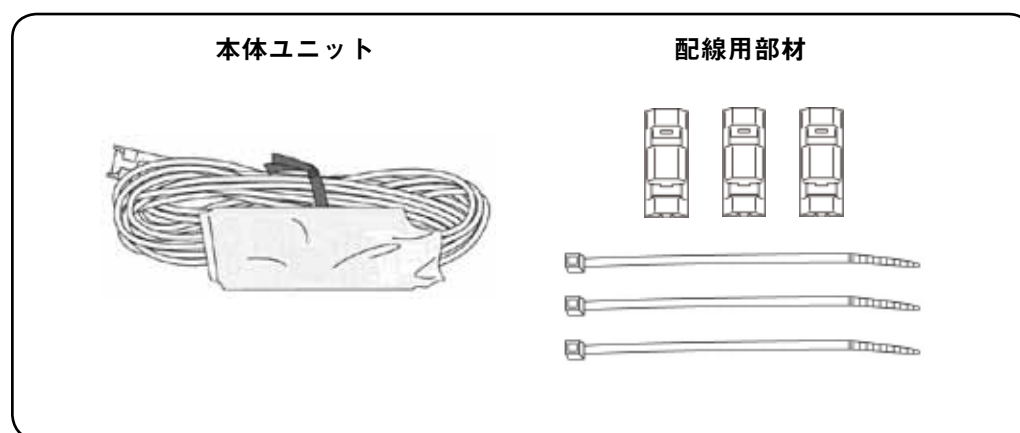
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
トヨタ20極コネクタピン配置図	7
トヨタ26極コネクタピン配置図	8
トヨタ28極コネクタピン配置図	9
トヨタ補助アンプ搭載車での配線変更方法	10
マツダ24極コネクタピン配置図	12
マツダ車へ接続する場合の一部ハーネスの加工方法	13
スズキ20極コネクタピン配置図	14
日産20極コネクタピン配置図	15
日産E51系エルグランド(2002.5～2007.10)コネクタ図	16
日産T31系プレサージュのコネクタ図	17
カーナビ側への配線の接続	18
初期設定を行う	19
本体LEDの点滅について	20
トラブルシューティング	21
高度な使い方	22

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 本体ユニット | 1 台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1 部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1 部 |
| 4. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは8本の配線が出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）ですので、ワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V アクセサリー電源 |
| 茶 / 白 | (+) ステアリングスイッチ入力 1 |
| 茶 / 黄 | (+) ステアリングスイッチ入力 2（未使用の場合があります） |
| 茶 / 黒 | (-) ステアリングスイッチ GND |
| 水 | (+) ナビコントロール SW1 出力 |
| 橙 | (+) ナビコントロール SW2 出力 |
| 緑 | (-) ナビコントロール SWG 出力 |

動作について

- ◇本ユニットを取り付けると、ステアリングスイッチでカーナビを安全に操作できるようになります。
- ◇ソース切り替え、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK-、オンフック、オフフック、ボイスの8機能に対応しています（ナビにより使用できる範囲は異なります）。

MEMO

- 車種とナビの組み合わせにより、ステアリングスイッチの全ボタンが使用できない場合がありますが正常です。

取り付けできる車両

- ステアリングスイッチ付きのトヨタ・ダイハツ・マツダ・スズキ・日産車で、**ステアリングスイッチ信号線に他の機器の配線が接続されていない事**
 - ※取り付ける前に車種別適合表で適合を確認してください。
 - ※後付けでスイッチを取り付けた場合は、一部車種を除いて対応不可です。
 - ※対応できない車種もありますので、適合表で確認してください。

取り付けできるカーナビ

- ステアリングスイッチコントロール入力があるカーナビ
 - ※詳しい対応機種は適合表をご覧ください。弊社へお問い合わせください。

取り付けに関する注意事項

- ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当社は一切責任を負いません。
- 本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付け方法

ユニットの配線のうち「茶 / 黒・茶 / 白・茶 / 黄・赤・黒」を車両へ接続し、「水・橙・緑」をカーナビへ接続します。

※茶 / 黄は車種により未接続となります。

※ステアリングスイッチの表示と実際に動作する機能が異なる場合があります。

※ステアリングスイッチは下記のボタンが使用できます。

■基本的に使用できるボタン

「ソース切り替え」「音量上げる」「音量下げる」

「チャンネル送る」「チャンネル戻す」

■ナビにより使用可能になるボタン（車両にボタンがある場合のみ）

「オフフック（通話開始）」「オンフック（通話終了）」「ボイス」

1. カーナビ／カーオーディオを取り外す

カーナビ・カーオーディオを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

2. 車両側配線を接続する

本ユニットの配線を接続します。次ページ以降を参照して適切に接続を行ってください。

3. カーナビ側配線を接続する

カーナビのステアリングスイッチコントロール入力線に、本製品の配線を接続します。「カーナビへの配線の接続」ページを参照して適切に接続を行ってください。

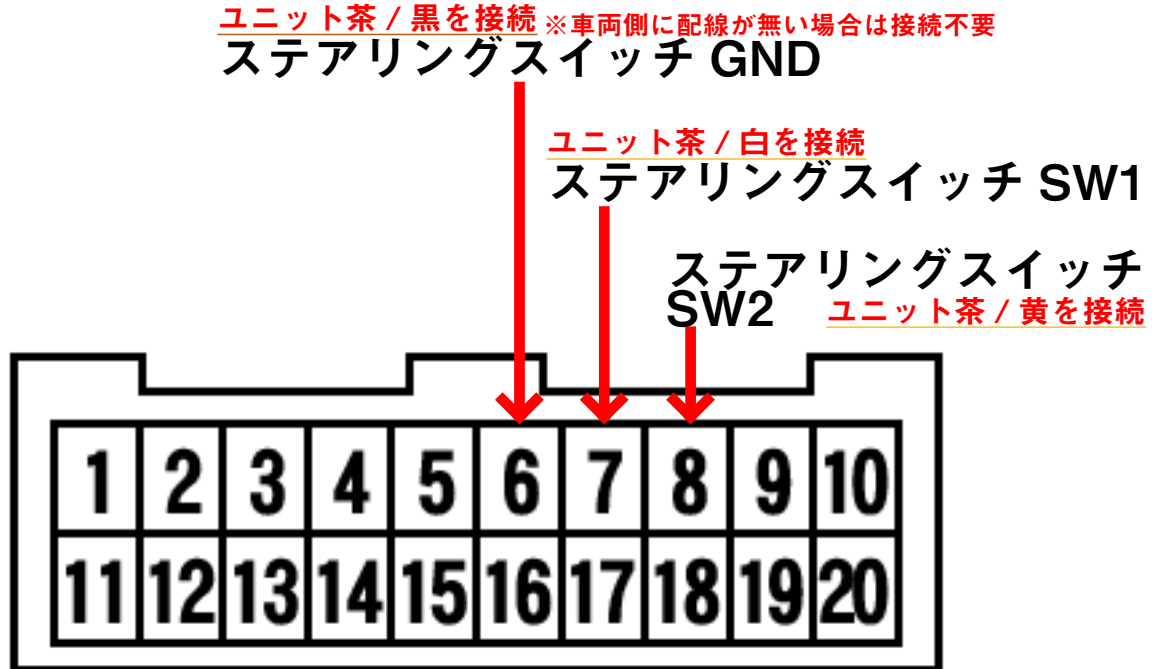
4. 設定を行う

設定方法ページを参照の上、設定作業を行ってください。

トヨタ / ダイハツ 20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが10極と6極の場合（殆どのトヨタ車）では下記のように20極コネクタへ接続します。

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	7 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	8 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	6 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ / ダイハツ5極コネクタピン配置図

■現行 LA150・LA160 系ムーヴ・ムーヴカスタム等のステアリングリモコンコネクタが5極の場合では下記の様に接続します。

※コネクタを配線が出ている側から見た図です

ユニット茶 / 黄を接続

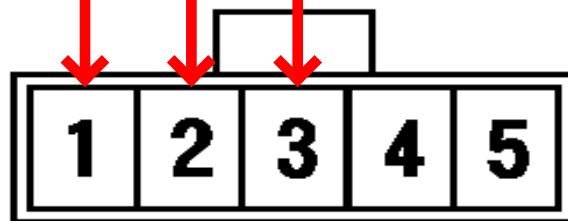
ステアリングスイッチ SW2

ユニット茶 / 白を接続

ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 黒を接続

ステアリングスイッチ GND



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

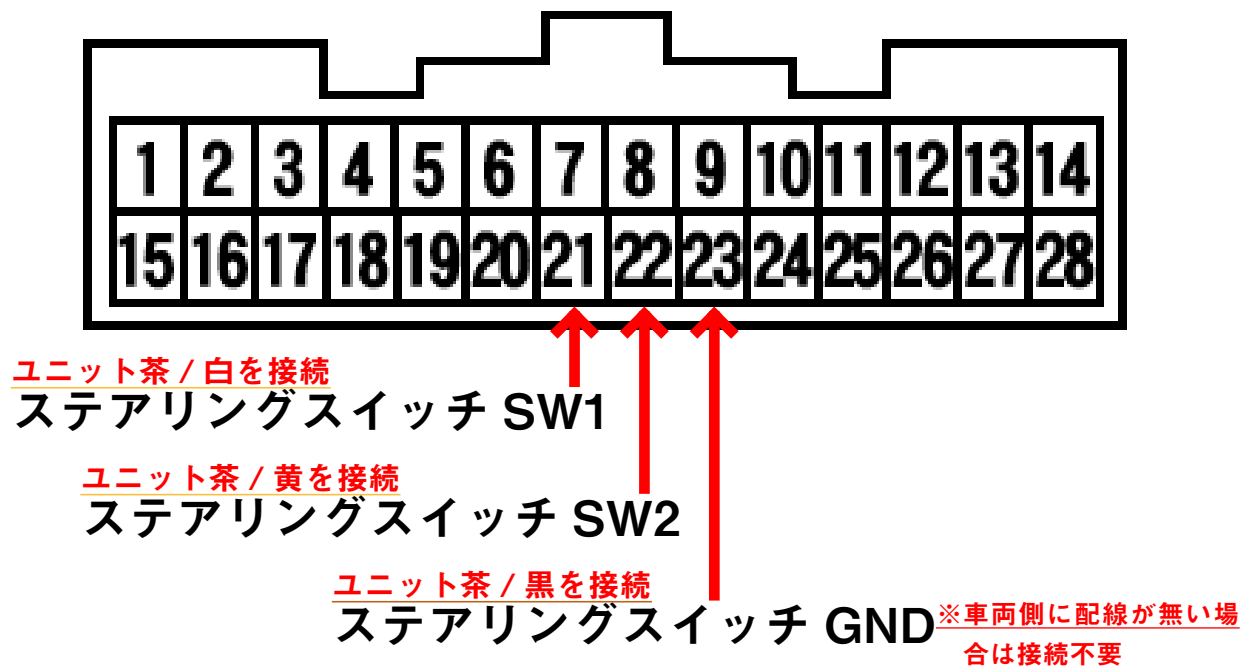
MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	2 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	1 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	3 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ28極コネクタピン配置図

- 28極コネクタ採用車（AQUA等）では下記のように接続します
- ※ オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



- ※ ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。
- ※ アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	21 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	22 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

※車両側に配線が無い場合は接続不要

トヨタ 26 極コネクタピン配置図

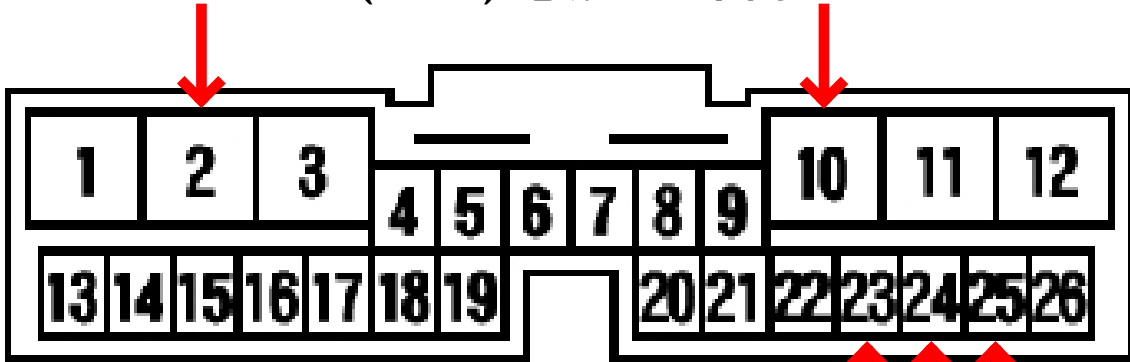
■ 26 極コネクタ採用車（SAI など）では、下記の様に接続します
 ※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です

ユニット赤を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源

ユニット黒を接続

車両アース



ユニット茶 / 黒を接続

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ SW2

ユニット茶 / 白を接続

ステアリングスイッチ SW1

※ ACC 電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続するか、26 極コネクタの 2 番へ接続してください。

※ アース線（黒）はカーナビ／カーオーディオの金属部ねじに共締めしてもかまいません。

※ アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しない場合があります。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	2 番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	10 番 車両アース
茶 / 白	⇒	25 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	24 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	23 番 ステアリングスイッチ GND

トヨタ補助アンプ搭載車での配線変更方法

b Bのウーハー搭載モデルや、ノア／ヴォクシーの9スピーカーモデル等、外部アンプを搭載しているモデルでは、社外ナビ／オーディオに交換するとウーハーやドアスピーカーが鳴らなくなる場合があります。

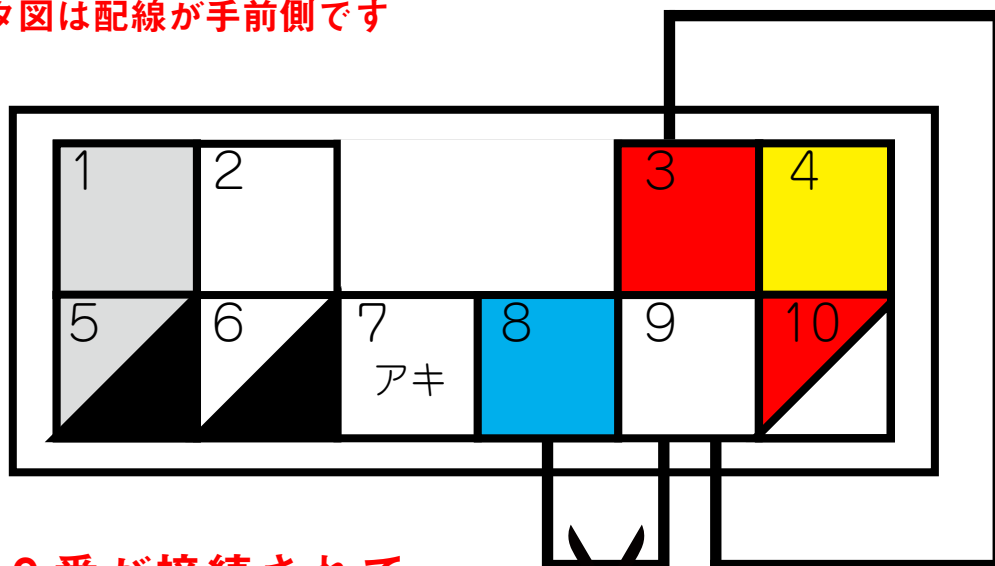
これは、社外ナビ／オーディオハーネスでアンプの電源（10極コネクタ9番）が正しく接続されていないためです。下記のように加工を行い、9番端子をACC電源に接続するとアンプ電源がONになり、問題が解消します。

■加工方法

1. 社外ナビ／オーディオ変換ハーネス（10P、6P変換ハーネス）の10極側を確認し、配線の色が下記コネクタ図の通りであることを確認します。
2. **8番と9番がループ線で接続されている場合は、切断します（重要）。**
3. 8番にカーナビ／オーディオのアンテナリモートへ接続されているかを確認します。違っていれば修正します。
4. 9番と3番を短絡し、9番にACC電源が入るように加工します。
9番がアキ端子になっている場合は、車両側を加工してください。

トヨタ車用オーディオハーネス（10極）

※コネクタ図は配線が手前側です



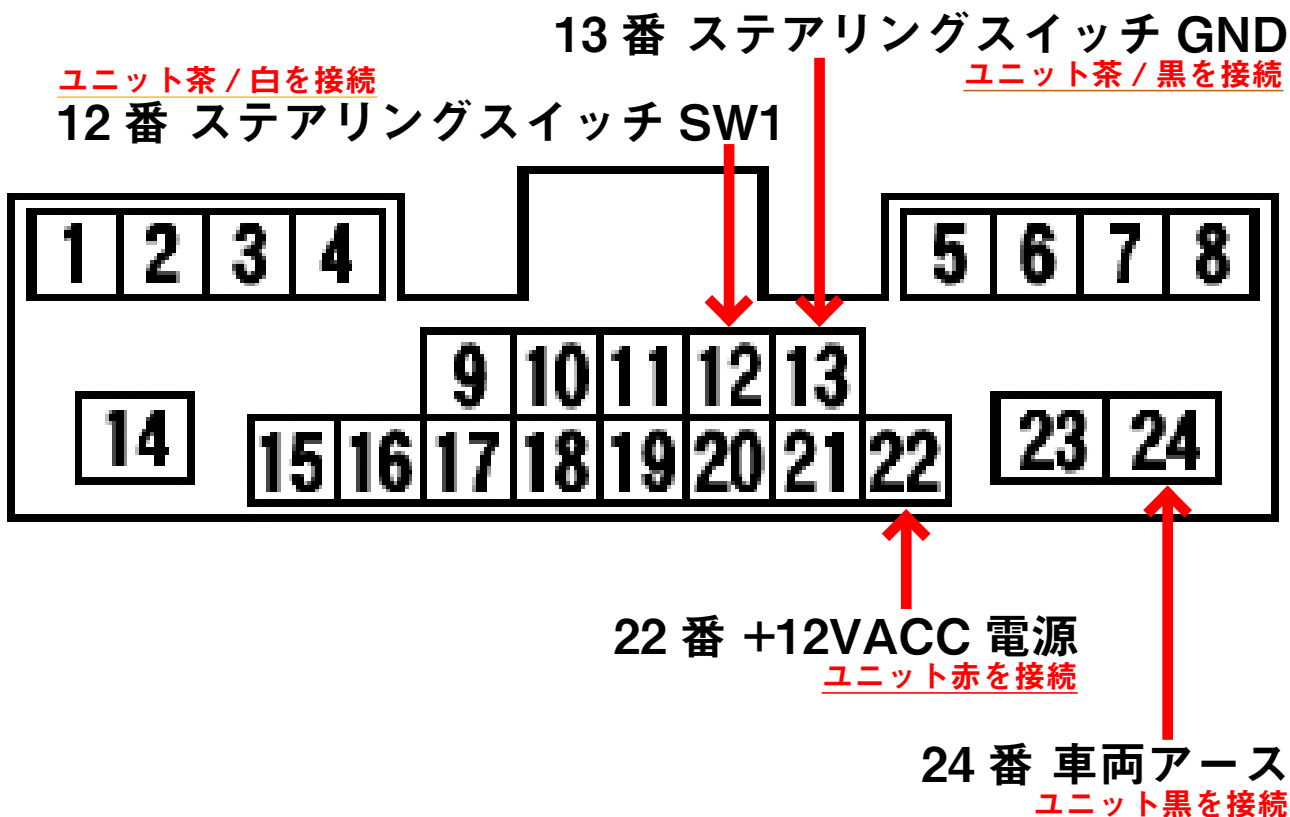
8番と9番が接続されて
いれば必ず切断すること

9番と3番を接続する

マツダ車 24極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが24極のマツダ車では下記の様に接続します。

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続するか、コネクタの22番へ接続してください。

※アース線（黒）はカーナビ／カーオーディオの金属部ねじに共締めしてもかまいません。

※ステアリングスイッチを押さずにキーをACCにしているのに設定モードになってしまう場合は、茶 / 黒と茶 / 白の配線を入れ替えてください。又は次ページを参照してオーディオハーネスを加工します。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	22番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	24番 車両アース
茶 / 白	⇒	12番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	未 接 続
茶 / 黒	⇒	13番 ステアリングスイッチ GND

マツダ車へ接続する場合の一部ハーネスの加工方法

一部メーカー製のオーディオハーネスで、**ハーネス部分にてステアリングスイッチ信号線がアースされている**場合があります。

そのまま接続しても本ユニットを使用することができませんので、下記のように対処してください。

■症状の現れ方

1. ステアリングスイッチを押していなくてもイグニッションキーをACCにすると設定モードになります。赤LEDと緑LEDが交互に点滅したまま終了しません。

■対処方法その1

1. オーディオハーネス部分でステアリングスイッチライン（12番、13番）がハーネス部でアースに落ちていることを確認し、アースへの接続を切断してください。

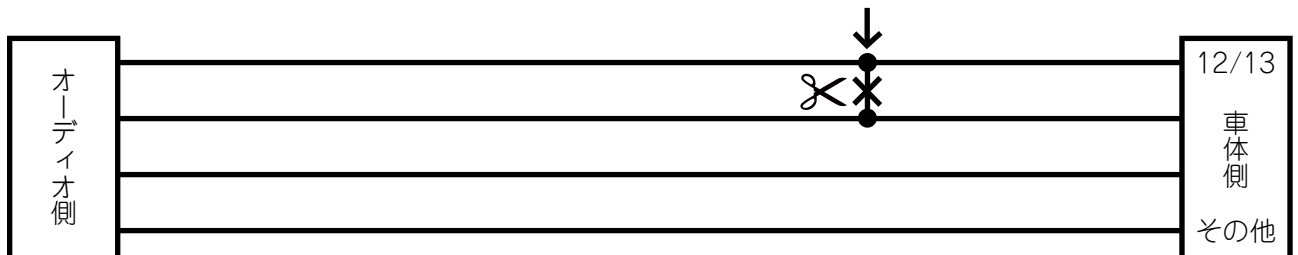
※オーディオハーネス部分でアースに落ちていない場合は、茶/黒と、茶/白の接続先を確認してください。

■対処方法その2

1. ユニットの茶/黒と茶/白の接続を入れ替えてください。

※茶/黒と茶/白の接続先の両方がアースに落ちている場合は、茶/白の接続先をアースされないように切断する必要があります。

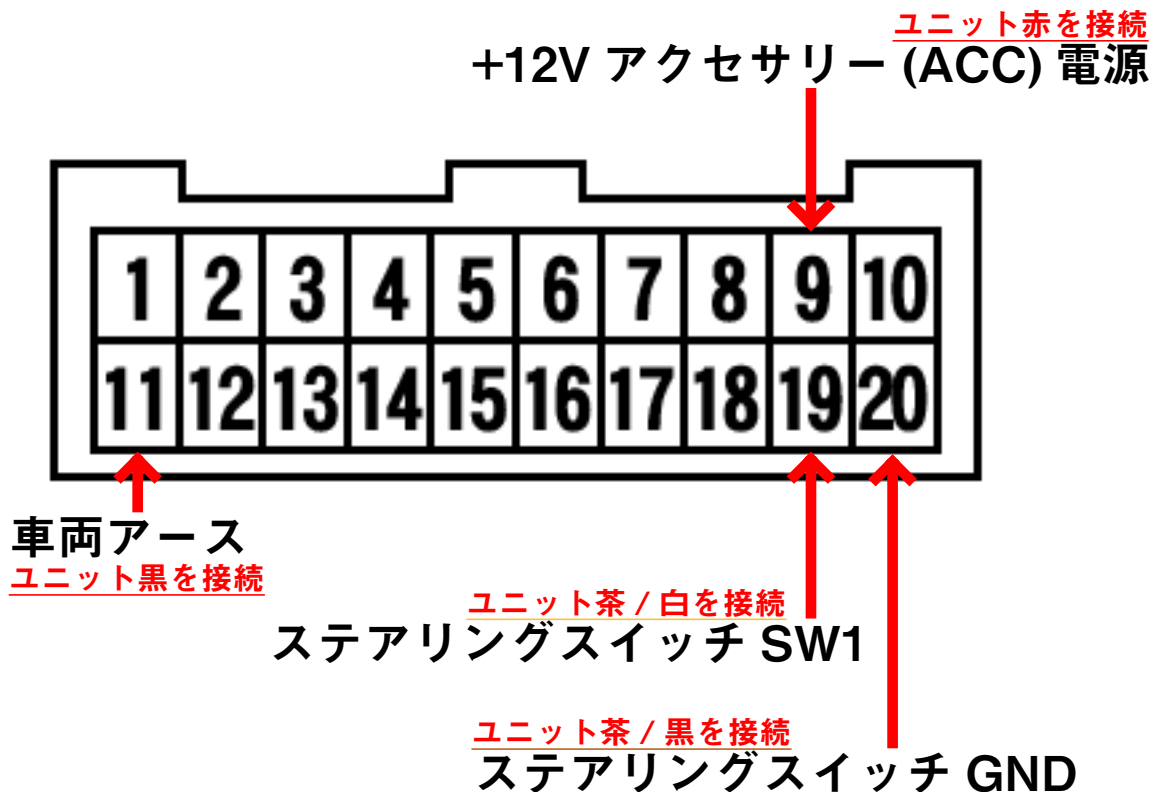
社外ハーネスで12番か13番がアース線に接続されている場合は必ず切断してください



スズキ車 20極コネクタピン配置図

※クラリオン製カーナビにカプラを直接差し込む場合は下記を参照

※オーディオコネクタを差し込み側から見た図です



※本ユニットの茶 / 黄は未使用です。どこにも接続せず、絶縁処理してください。

※クラリオン製のカーナビをお取り付けの場合で、車両の20極カプラを直接カーナビ本体へ差し込む場合は、19番と20番の配線を切断して、カーナビに信号が入らないようにしてください。

MEMO

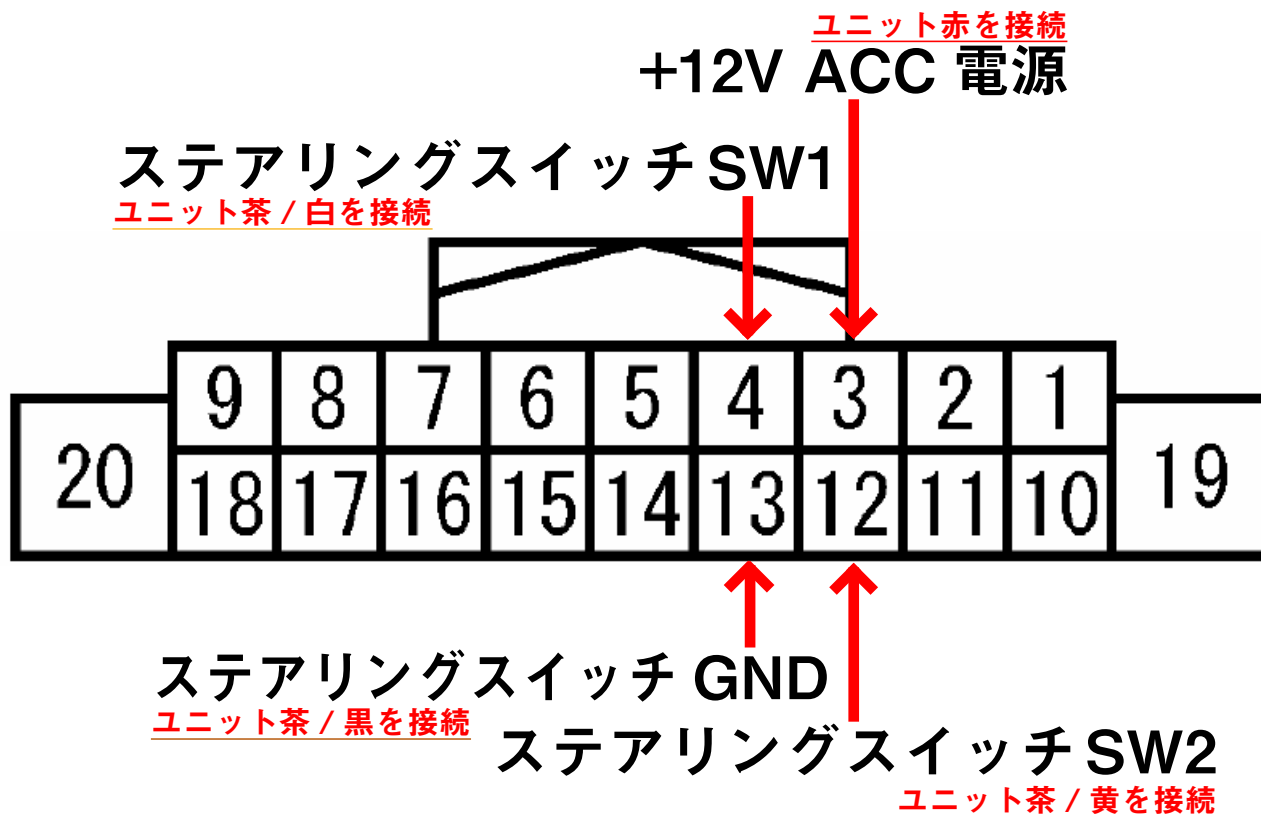
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	9番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	11番 車両アース
茶 / 白	⇒	19番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黒	⇒	20番 ステアリングスイッチ GND

日産 20 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが20極の日産車では下記の様に接続します。

※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です



※ACC電源線（赤）はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線（黒）をカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ／カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	3番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	4番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	12番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	13番 ステアリングスイッチ GND

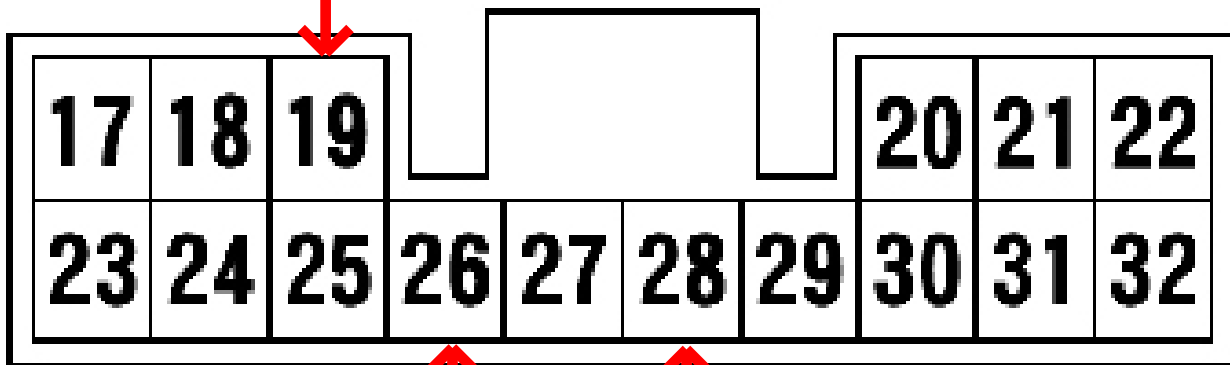
日産 E51 エルグランド (2002.5 ~ 2007.10) コネクタ図

■ 2002.5 ~ 2007.10 のエルグランドについては下記のように 16 極コネクタへステアリングスイッチ信号線を接続してください。

※オーディオコネクタを配線がでている側から見た図です

ステアリングスイッチ SW1(+)

ユニット茶 / 白を接続



ステアリングスイッチ GND(-)

ユニット茶 / 黒を接続

ユニット茶 / 黄を接続

ステアリングスイッチ SW2(+)

※ ACC 電源線 (赤) はカーナビ / カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※ アース線 (黒) をカーナビ / カーオーディオの金属部分へ接続した場合、カーナビ / カーオーディオを車両にねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しません。動作確認の際はご注意ください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	19 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	26 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	28 番 ステアリングスイッチ GND

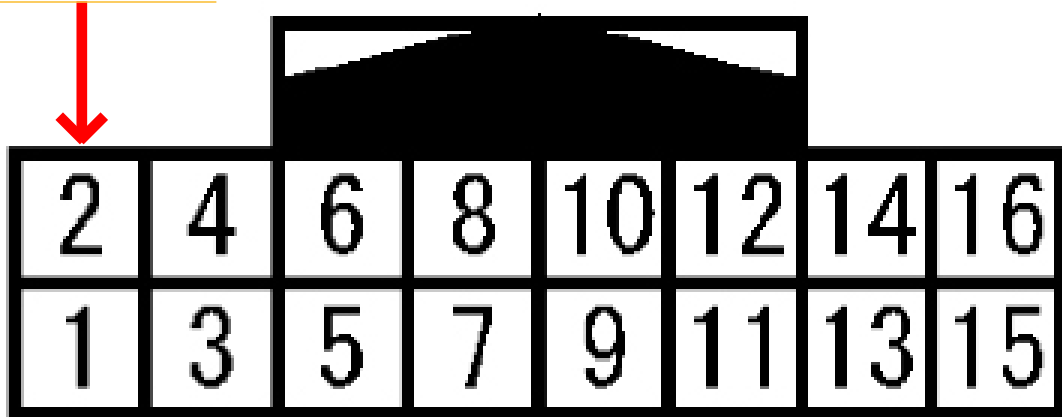
日産 U31 系プレサージュのコネクタ図

■日産 U31 系プレサージュではシフトゲートレバー横のエアコン操作パネル裏にある 16 極コネクタへステアリングスイッチ信号線を接続してください。下記 3 本の配線を切断し、ステアリングスイッチ側に接続します。

※コネクタを配線がでている側から見た図です

2 番 (緑又は赤) ステアリングスイッチ SW1

ユニット茶 / 白を接続



ユニット茶 / 黒を接続

3 番 (黒 / 黄) ステアリングスイッチ GND

ユニット茶 / 黄を接続

1 番 (緑) ステアリングスイッチ SW2

※上記の車両側配線色は変更されている可能性があります。

※上記の接続先はエアコン操作パネルに入る配線を切断して、本ユニットにのみステアリングスイッチ信号線が接続されるようにしてください。

※ACC電源線 (赤) はカーナビ／カーオーディオの接続用ハーネスから分岐して接続してください。

※アース線 (黒) はカーナビ／カーオーディオの金属部分へ接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
茶 / 白	⇒	2 番 ステアリングスイッチ SW1
茶 / 黄	⇒	1 番 ステアリングスイッチ SW2
茶 / 黒	⇒	3 番 ステアリングスイッチ GND

カーナビ側への配線の接続

■ ステアリングリモート線へ接続します

1. 本製品の水・橙・緑の3本を、カーナビへ接続します

※ギボシは抜けないように確実に差し込んでください

※メーカーにより配線色が異なる場合があります

！注意！故障の原因となりますので、カーナビの「ステアリングリモート入力」信号線以外の配線（アンテナリモート・アンプリモートなど）に本製品の配線を接続しないでください。

ユニットの配線色		⇒	クラリオン	パナソニック	イクリップス
水	SW1	⇒	茶 / 白	茶	白 / 青
橙	SW2	⇒	茶 / 黄	青 / 黄	茶
緑	SWG	⇒	茶 / 黒	黒	黒

ユニットの配線色		⇒	ケンウッド	アルパイン
水	SW1	⇒	水 / 赤 (KEY1)	橙 / 白
橙	SW2	⇒	紫 / 赤 (KEY2)	赤 / 白
緑	SWG	⇒	灰 / 赤 (KEY4)	黒 / 白

※上記ナビ配線色は一例です。必ずナビの説明書を参照してください



※上図のナビ配線色は一例です。ナビの説明書を参照して正しい信号線に接続してください

MEMO

！注意！

故障の原因となりますので、カーナビの「ステアリングリモート入力」線以外の端子や配線に本製品の配線を接続しないでください！

初期設定を行う

1

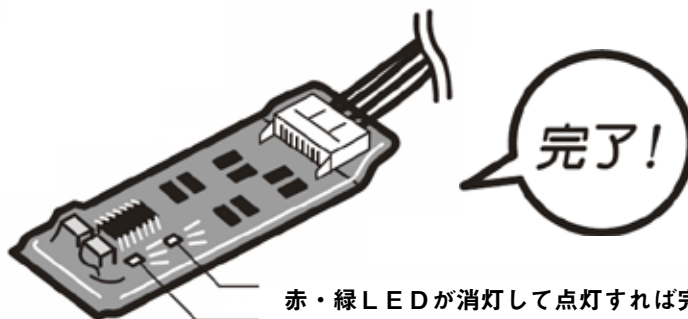
ステアリングスイッチの「ボリュームダウン」ボタンを押しながらキーをACCに廻します（プッシュスタート車の場合は、ブレーキを踏まずにスタートスイッチを押します）。



2

そのままステアリングスイッチを押したままにしてください。ユニット本体の赤・緑LEDが一旦消灯し、しばらくして点灯すれば設定完了です。

※LEDが消灯⇒点灯と変化するまでステアリングスイッチを押し続けてください。消灯しない場合はやり直してください。



3

カーナビのステアリングリモコン設定を「トヨタ車」に変更するか、個別登録を行います。



※ナビが操作不能になっている場合は配線を外して設定します

本体LEDの点滅について

■本体のLEDの点滅・点灯は本体の状態、設定状態を示しています。

◇赤色LED

- 高速点滅 ⇒ イニシャライズ中
- 点灯 ⇒ 通常動作中

◇緑色LED（イニシャライズ中）

イニシャライズ中に点滅します。点滅回数は車両メーカーの設定状態を示しています。

- 1回 ⇒ トヨタ車
- 2回 ⇒ マツダ車
- 3回 ⇒ スズキ車
- 4回 ⇒ リザーブ
- 5回 ⇒ 日産車（E51系6ボタンスイッチ）
- 6回 ⇒ 日産車（C25系8ボタンスイッチ）

◇緑色LED（通常動作中）

- 消灯 ⇒ ステアリングスイッチが押されていない
- 点灯 ⇒ ステアリングスイッチが押された

■設定モードになった場合

設定モードに移行した場合は、次のように変化します。

本体の状態	赤色LED	緑色LED
イニシャライズ中	高速点滅	既設定の車両メーカーを示し点滅
車両メーカー判定	消灯	新設定された車両メーカーを示し点滅

MEMO

※新品購入時の設定はマツダ車になっています。

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤・緑色LEDが点滅・点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部に接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■ステアリングスイッチが作動しない

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、下記項目を確認してください。

1. カーナビのステアリングリモコン設定を行っていますか？
2. ステアリングリモコン信号出力線は確実に差し込まれていますか？
3. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合は、再度初期設定を行ってください。改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。
4. ステアリングスイッチを押していなくても緑色LEDが点灯している場合は、初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶 / 黒、茶 / 白、茶 / 黄 ※未使用の場合あり）の接続を確認してください。

■カーナビが勝手に作動する

■本ユニットを接続すると、カーナビが操作できなくなる

初期設定を行ってください。初期設定を行っても改善しない場合は、下記項目を確認してください。

1. カーナビのステアリングリモコン設定は「トヨタ車」になっていますか？
2. ステアリングリモコン信号出力線の接続が間違っていないですか？
3. マツダ・スズキ車では初期設定前にカーナビが操作できない場合があります。操作ができない場合はカーナビ側に接続している配線を外してから設定を変更し、再度配線を接続してください。

高度な使い方

1. 本製品は各車両メーカーの標準ステアリングリモコン信号を出力できます。純正ナビ等で特定メーカーの信号しか対応していない場合に変更します。

MEMO

！ 注意 ！

よくわからない場合は設定を変更しないでください！

■設定変更方法

1. ACC をオンにして、ユニットが赤ランプのみ点灯するまで待ちます。
2. 30秒以内にステアリングリモコンで下記コマンドを入力します。設定されると緑LEDが応答に記載の回数だけ点滅します。

※緑LEDが点滅しない場合は失敗です。ACCをオフにしてやり直してください。

メーカー	⇒	コマンド	応答
トヨタ	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, SEEK+	1回
マツダ	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-	2回
ホンダ	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL+	3回
スズキ	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, VOL-, SEEK+	4回
三菱	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, VOL-, VOL-	5回
スバル1	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, VOL-, VOL+	6回
スバル2	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, VOL+, SEEK+	7回
日産	⇒	VOL+, VOL+, VOL-, VOL-, SEEK+, VOL-, SEEK+, VOL-, VOL+, VOL-	8回

※設定変更後はすぐに出力信号が変更されます

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAP-MCCT30	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 543-0021 大阪市天王寺区東高津町 3-20 エフズビル 702 電話 06-6131-6300